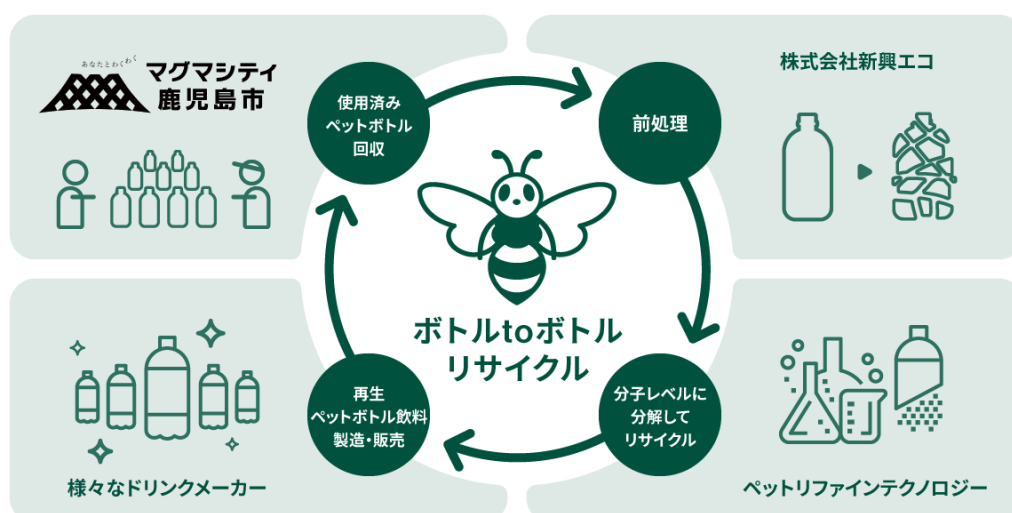


株式会社 JEPLAN
2025 年 4 月 2 日

JEPLAN、鹿児島県鹿児島市と「循環型社会の構築に向けた連携協定」を締結 ーペットボトルのボトル to ボトル リサイクルに向けた連携を強化ー

株式会社 JEPLAN（代表取締役 執行役員社長：高尾 正樹、以下「JEPLAN」）は、鹿児島県鹿児島市（市長：下鶴 隆央）、ペトリファインテクノロジー株式会社（代表取締役 執行役員社長：伊賀 大悟、以下「ペトリファインテクノロジー」）、株式会社新興エコ（代表取締役：廻 政興、以下「新興エコ」）、株式会社サーキュラーペット（代表取締役：喜田 知克、以下「サーキュラーペット」）と、「循環型社会の構築に向けた連携協定」（以下「本協定」）を 3 月 25 日（火）に締結しました。



鹿児島市とペトリファインテクノロジーによるペットボトルの水平リサイクル（ボトル to ボトル）プロセス

本協定により、鹿児島市が回収した使用済みのペットボトルを、ペトリファインテクノロジー（JEPLAN グループ）の「ケミカルリサイクル」と、サーキュラーペットの「メカニカルリサイクル」、2社の技術を活用してボトル to ボトル リサイクルを実施します。2つのリサイクル方法を組み合わせることで、リサイクル率の向上や再生 PET 樹脂の品質向上が期待できるだけでなく、製造過程で発生する CO₂ 排出量の削減にも貢献します。さらに、回収したペットボトルの前処理の一部については、鹿児島市に本社を置く新興エコとも連携し、5者協力のもとでボトル to ボトル リサイクルを推進していきます。

JEPLAN グループは「あらゆるものを循環させる」をミッションに掲げ、サーキュラーエコノミーの実現を目指し、資源循環を推進しています。ペットボトルの資源循環に関しては、日本全国の自治体と連携し、独自技術を活用したボトル to ボトル リサイクルに係る取り組みを実施しており、約 60 の自治体（2025 年 3 月末時点）と協定を締結しています。

本件に関する取材のお問い合わせ先

株式会社 JEPLAN 広報担当

電話：044-223-7898 E-mail：jeplan_info@jeplan.co.jp

鹿児島市では、「みんなで資源の循環とゼロカーボンに取り組む 持続可能なまちかごしま」を基本理念とした第四次鹿児島市一般廃棄物処理基本計画を定め、資源が循環し、環境負荷が低減される循環型社会の構築を目指すとともに、2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティかごしま」の実現を目指し取組を推進しています。本協定により、JEPLAN グループと鹿児島市が有する人的・物的資源を有効活用し、資源循環に向けた推進や消費行動変容の機運醸成など、地域環境保全と地域経済・社会活性化の両立に取り組み、使用済みペットボトルのボトル to ボトル リサイクル推進や市民への環境教育や啓発活動等の連携を進めていきます。

今後も JEPLAN グループでは「あらゆるものを循環させる」というミッションの実現に向けて、引き続き国内外のパートナーとの連携を進め、グループ一丸となりサーキュラーエコノミーを牽引していくことに努めてまいります。

■「循環型社会の構築に向けた連携協定」締結式



(左から) 株式会社新興エコ 代表取締役：廻 政興氏、株式会社 JEPLAN 会長：岩元 美智彦、鹿児島 市長：下鶴 隆央氏、ペットリファインテクノロジー株式会社 執行役員：角山 正和、株式会社サーキュラーペット 代表取締役：喜田 知克氏

■JEPLAN グループが推進するボトル to ボトル リサイクルに係る取り組み

(<https://bringbottle.jeplan.co.jp/>)

JEPLAN グループは、日本全国の自治体と連携し、ボトル to ボトル リサイクルの取り組みを推進しています。役割を終えたモノがゴミではなく、価値ある資源として循環する社会を目指しています。この取り組みの一環として、ペットボトルを回収し、再びペットボトルにリサイクルする活動「おかえりペットボトルアクション」を実施しています。

日本では、年間約 64 万トン^{*1}のペットボトルが製造・販売されています。そのリサイクル率は約 85%^{*2}です。しかし、ペットボトルがペットボトルとし



本件に関する取材のお問い合わせ先

株式会社 JEPLAN 広報担当

電話：044-223-7898 E-mail：jeplan_info@jeplan.co.jp

てリサイクルされている割合は約 34%^{*3}にとどまっています。この残りの 66%をボトル to ボトルリサイクルすることを目指し、さらなる資源循環の推進に取り組んでいます。

*1,2,3 PET ボトルリサイクル年次報告書 2024 (PET ボトルリサイクル推進協議会) : <https://www.petbottle-rec.gr.jp/nenji/2024/2024.pdf>

■鹿児島県鹿児島市 (<https://www.city.kagoshima.lg.jp/index.html>)

市長：下鶴 隆央

■株式会社新興エコ (<https://www.shin-kou.net/eco/>)

代表取締役：廻 政興

■株式会社サーキュラーペット (<https://cpet.co.jp/>)

代表取締役：喜田 知克

■株式会社 JEPLAN (<https://www.jeplan.co.jp>)

代表者：代表取締役 執行役員社長 高尾 正樹

設立：2007 年 1 月

主な事業内容：PET ケミカルリサイクル技術関連事業（対象：PET ボトル・ポリエステル）など

JEPLAN グループは「あらゆるものを循環させる」をミッションに掲げ、サーキュラーエコノミーの実現を目指しています。廃 PET（ペットボトル、ポリエステル繊維等）を対象に、独自の PET ケミカルリサイクル技術を用いて分子レベルに分解し、不純物を除去することで、石油由来と同等品質の再生素材に生まれ変わらせています。この独自技術を用いて、「ボトル to ボトル（ペットボトル）」や「服から服をつくる（ポリエステル繊維）」などのリサイクルに取り組むことで、限りある資源の循環を実現し、CO₂の排出量削減にも寄与しています。

なお、JEPLAN グループはペトリファインテクノロジー株式会社（神奈川県川崎市・ペットボトル対象）と北九州響灘工場（福岡県北九州市・ポリエステル繊維対象）の 2 拠点で PET ケミカルリサイクルプラントを運営しており、国内外への技術ライセンス事業も推進しています。

■ペトリファインテクノロジー株式会社 (<https://www.prt.jp>)

代表取締役 執行役員社長：伊賀 大悟

設立：2008 年 10 月

事業内容：独自の PET ケミカルリサイクル技術を用いた使用済みペットボトルのリサイクル樹脂の製造・販売

本件に関する取材のお問い合わせ先

株式会社 JEPLAN 広報担当

電話：044-223-7898 E-mail : jeplan_info@jeplan.co.jp